

# 第 1 回定例教育委員会 会議録

開催月日 令和3年4月14日（水）

開催時間 午後 3 時 30 分から午後 3 時 55 分まで

開催場所 教育委員会室

出席委員 教育長 三井 孝夫  
教育長職務代理者 佐藤 喜美子  
教育長職務代理者 岡部 和子  
委員 松坂 浩志、小澤 幸子

出席職員 教 育 次 長 小田切三男  
教 育 監 中 込 司  
教 育 監 手島 俊樹  
理 事 降旗 友宏  
次長（総務課長） 藤原 鉄也  
義務教育課長 秋山 克也  
総務課総括課長補佐 武井 俊人  
総 務 課 主 査 大瀬 信介  
総 務 課 主 査 新海佐貴子

義務教育課  
総 括 課 長 補 佐 中村 隆宏  
義務教育指導監 小池 孝二  
副主幹・指導主事 櫻井 順矢

傍 聴 人 0 名

報 道 1 名

## 会議要旨

### 〔 教育長開会宣言 〕

長澤委員から都合により会議を欠席する旨の届け出があった。委員の任期満了にともない、3月29日付けで任命された新しい委員の紹介があった。

教育長職務代理者については、佐藤委員に加え、新たに岡部委員を指名した。

議案第1号については、個人情報に関する案件である旨が教育長から発言され、出席委員全員が了承のうえ非公開とした。

## 1 議 案

第 1 号 令和3年度山梨県教科用図書選定審議会委員の委嘱・任命について

〔説明〕 義務教育課

（非公開：会議の要旨）

令和3年度山梨県教科用図書選定審議会委員の委嘱・任命について、選定審議会の設置根拠や構成人数等に関する説明、委嘱・任命する委員名簿の提示があり、全委員の賛同により原案どおり決定された。

【原案どおり決定】

第 2 号 令和3年度山梨県教科用図書選定審議会に諮問する事項について

〔説明〕 義務教育課

【原案どおり決定】

2 報告事項 な し

3 その他報告 な し

4 そ の 他

出席委員から、ICT教育について質問及び意見があった。委員からの質問及び意見と事務局の回答の概要は次のとおり。

佐藤委員 中学校が今年から全面実施ということで、GIGAスクール構想の中でICT教育もいよいよということだと思うんですけど。一人一台端末や、その活動のための環境整備等は、もう各市町村足並みが揃っているのでしょうか。

秋山課長 データ通信の回線については、各市町村で整備を行っていただいているところで、まだ全市町村の中で4月1日で足並みが揃っているということではなくて、これから順次やっていく市町村もごさいますが、今年度内にはということで一応承っていますので、その中で整備を進めていくということで、少しちょっとした時間のずれがあるところがございます。

降籬理事 すみません、補足をさせていただきます。  
各市町村で一人一台の端末を準備していただいています。その自治体の中でも、例えば甲府市のように非常に学校数が多い所については、入り始めて順次少しずつ作業をしている所もあって、同じ甲府市内の中でも入っている段階が少しずつ時期をずらして入れているというような状況がございます。大体作業は各自治体に着実に進めていただいているんですけども、今のところ、ちょっとまだ今の段階の正確な情報が入りきれていないところがあるんですが、5月に少しずれるか、4月中に準備ができる自治体が結構多いというふうに現状では把握しているところでございます。

佐藤委員 昨年3月の状況ってグラフで見せていただいて、その後変化があるというなと思っておりましたので、よろしくご指導いただきたいと思えます。  
あと合わせて、ICT教育の現場を応援するという意味のICTの支援員というか、ああいった指導員の配置というのは県はどのように考えていらっしゃいますか。

降籬理事 ICTの支援員は、小学校、中学校については市町村で用意をしていただいているところではありますので、県では、このICT支援員は交付税措置だとか、国の補助金でサポーターを整備できますので、これをよく活用して下さいというようなお話を差し上げてきたところです。高校につきましては、ICT支援員を4月から各学校に大体概ね4校に1人分。つまり週に1回か2回ぐらいの程度で回るというような体制を組ませてもらっています。じゃあICT支援員が回らない日は止まったままですかというようなことではなくて、コールセンターのような、何か不都合があった時にはこちらに電話して下さいというふうに、すぐに対応できたり、ちょっと急いで回っていただかないといけない場合には、寄っていただくといった柔軟な体制ができるよう高校では体制を取らせていただいております。これから各学校にICT支援員の方々が入って、先生方と色々な打ち合わせだとか、一緒に授業を見ていただいたりしていくところでもありますので、その辺りは学校現場とICT支援員の方々が協働して、少しずつ経験を積んでいただくシーズンに入ってきているということで、着実に進めさせていただいている、こういう状況でございます。

- 小澤委員 続けてICT関連で。2月の新人教育委員のための文科省におけるレクチャーを受けました。その時に先進県として奈良県のICT教育の試みについて紹介がありました。奈良県においては教育コンテンツを県で取りまとめ、そこに先生方が自由にアクセスして、1からそれを作らなくてもいいように、また学校間で標準化できるようにというふうな優れたシステムがありました。先進県のもを全部当県で取り入れるのはなかなか難しいとは思いますが、そういった成果物においては他県のもを広く共有したいというご意見もあって、その部分は進めていってほしいと聞きました。山梨県ではそういった他県の先進的な取り組みを追いかけるのではなく、活用するみたいな形で取り入れていくようなお考えはありますか。
- 降籙理事 今回の段階は、小澤委員が言って下さったように、他県の優れたものを参考にさせていただこうと思っています。例えば今、奈良県の事例もそうなんです。熊本県では先生向けのICT活用の参考資料というものをすでにつけていて、これをオープンにされているというような事例も伺っております。ただ、奈良県の先生方や学校現場の状況と、本県の教育現場の状況がやや異なる部分もありますので、あくまでもそういった使えるところは使っていきたいと思いたいと思いたいですけれども、特に先生の指導力の向上の部分とか、先生方にどうやって経験を積んでいただくかといった、その地道な所については、しっかりと県としてオリジナリティーというものを持たせて進めていきたいと思っています。小澤先生がおっしゃるように、いろんな県がいろんな取り組みをしていますので、私どもとしてはそういう取り組みというものを高くアンテナを張って、いい取り組みについては積極的に導入できるような形の、そういう思いで本年度もさせていただこうと思っています。
- 小澤委員 ありがとうございます。
- 佐藤委員 ではもう一つお願いします。合わせてデジタル教科書というものは、補助教材という位置付けでしょうか。
- 降籙理事 デジタル教科書につきましては、検定の教科書と同じように扱えるようにすることを現在、文科省で整理をしております。本年度の国の予算で、デジタル教科書の普及事業を国補で行う予定になっています。本県で直接各市町村から手を挙げていただくスタイルを取っていますので、どれぐらいこれに参加されるかといったところの状況がちょっとまだつかめていないんですが、この辺りは検定教科書としての扱いについて考え方が示されていくこととなりますので、また紙の教科書とデジタルの教科書の取り扱いというようなことも含め、少し本県の中でも考えを整理することが生じてくると今にらんでいるところでございます。
- 佐藤委員 そうなると慣れるまでは各現場の学校は多忙感があると思うので、ぜひオンライン研修とか、先ほど降籙理事がおっしゃったような形で、先生方が負担のないような形で道具として使えるようにお力をいただければと思います。よろしくお願いします。
- 秋山課長 追加でよろしいですか。山梨県内で、国立、私立、県立、全て含んだ県内の270校中、実は86校でこのデジタル教科書の検証授業について参加をするということで、今年度進めていっております。
- 佐藤委員 余り温度差がないように、各市町村全て足並み揃うようにぜひやっていただきたいと思います。
- 教育長 はい、ありがとうございました。

〔 教育長閉会宣言 〕

以 上